

うた ひつじの詩だより

2009. 11. 1
毎月発行 No.104
この裏には注の品と
いっぱいお届けします

「ウォドルフ人形の四季」 -2009、スウェーデン大使館作品展より-

11月1日(日)~5日(木) タンテ・ボレ 名古屋市天白区八事石坂 619

TEL: 052-835-0190 担当: 福井光子

11月10日(火)~15日(日) TETOTETO 江東区東陽町 3-26-10

TEL: 03-3645-1484 担当: 高橋美恵子

11月21日(土)~11月23日(月・祝) 今井書店 松江市西田和山町 88

TEL: 0852-20-8686 担当: トライアングル

その他の作品展のお知らせ

11月10日(火) つくば市立竹園西幼稚園 つくば市竹園 1-15-2

TEL: 029-852-1566 木下久子

11月10日(火)~15日(日) ギャラリー北野坂 神戸市中央区山本通 1-7-17

「ウォドルフ人形に魅せられた仲間たち」 TEL: 078-222-5517 足立美和子

11月22日(日)・23日(月・祝)「ウォドルフ人形展」

ばふ宇治店 宇治市宇治妙楽 31 TEL: 0774-24-4321 中野久仁子

11月28日(土)~30日(月)「ウォドルフ人形と冬の手しごと」

きらきらぼし 国立市中 1-16-21 笹岡かおり・小谷育代・佐藤治子

新刊書のご案内 「ペニーはおにいちゃん」

くバルプロ・リンドグレーン 文 / オーロフ・ランドストローム 絵 /
うらたあつこ 訳 >

弟が生まれて、病院ではじめて対面した時のことは、よく覚えてい
ます。「えっ?この赤くてくしゃくしゃの?みんな可愛い子が来るって、言
ってなかった?」家に帰ってきてからも、母が以前より忙しそうで、私
はなんだか不満でした。絵本の中のペニーの気持ち、よくわかります。
小さい弟妹が生まれた子の気持ちは複雑。そんな気持ちに寄り添ってくれる絵本です。出版
されるとたちまち評判になり、すでに10カ国以上で出版されています。(ラトルズ刊)



スウェーデンひつじの詩舎 クリスマスセールのお知らせ

12月3日から25日までの毎週木・金・土、スペース「ペレの
あたらしいふく」ではクリスマスセールを開催します。期間中店
内では「ウォドルフ人形の四季-スウェーデン大使館作品展より」の展示と、
ぱたぼんの手作り作品の販売があります。ご来店く
ださったお客さまには、手作り品以外のキット・書籍を5%引き
とし、ポイントを通常の2倍さしあげます。また、クリスマスに
向けて、季節にふさわしいオーナメントのキットを用意してい
ます。キットはうさぎの指人形2体・天使のお守り・ヴァドマルの
お家です。くわしくはペレにご来店くださった方々に11月中旬、ご案内のハガキ
を送らせていただきます。または、11月中旬以降にどうぞお問い合わせください。



ぱたぼん通信

草木染め

いつもウォドルフ人形を作っている幼稚園のお母さんたちと、
草木染めをしてみようということになりました。

半年ほど前に、私は、長年茜染めの研究をしておられる上野八重
子先生から染めを教えていただく機会にめぐまれました。それまで
染料店で買った茜を適当に煮出して、「わーい、染まった染まった
~」と喜んでいて私にとっては、色のにごりを取り除くためによく洗うこと、黄色味を除く
ためにひと晩水に浸ける、あるいは1度ゆでこぼすこと、細かくしてから抽出することなど、
丁寧な下準備によって鮮明な色を得ることができるといことがとても新鮮でした。そのと
きの感動を思い出しながら、今回は西洋茜でシルクの布を染めてみることにしました。

一晩水に浸けた西洋茜と大鍋を幼稚園の調理室に持ち込んで、まずは柔らかくなった茜の
根をみんなで細かく裂き、その間にみょうばんで布を媒染しました。それから細くなった
茜をくつくつと煮出しました。すすいだシルクをよくさばいて、いち、にの、さん!で、濾
した茜の染液に漬け込みます。ムラができないように、棒でかき混ぜながら、80度を保つ
ように火にかけて30分ほどしたら、軽くすすいで、お酢に漬け込み、それぞれ持ち帰ら
れました。

その日の午後、参加者の一人から、こんなメールが届きました。[帰宅後すぐに、染めた
布を干しました。年長組の息子と二人で、「きれ〜い!!」とうきうきしながら首に巻いた



り、頭からかぶったり、床に広げたり・・・二人で大はしゃ
ぎです。草木染めのスイッチが完全に入ってしまった私は、
昼食後に枇杷の葉を煮出して毛糸を染めてみました。続いて、
トチの実の殻、ススキ、セイタカアワダチソウにも挑戦して
みました。どれもきれいな色に染まり、大興奮状態です!]

次の人形講習の日には、何人
かが家で染めたという毛糸玉
を持ってきてくれました。中でも、黒豆の煮汁で染めたとい
う紫は、話には聞いていたけれど、そしていつかやってみた
いと思っていただけ、染めたことがなかったので、私自身
大感激でした。今や、彼女たちのパワーに圧倒されっぱなし
です。[今日はじめて枇杷の葉染めのスカーフを使ってしま
した。皆に好評でした。暖かく、自分で染めたものを身につ
けることができ、一日うれしく過ごすことができました。お人
形との出会い・染色など・・・豊かな気持ちで日々を過ごす
ことができるようになりました!]

まるで、お人形と手仕事を伝える私の気持ちをそのま
ま汲み取ってくれたかのようなメールが届き、私自身も本当にうれしい気持ちでいっぱい
になりました。 佐藤治子(八王子市在住)



(写真上から順に、①習ったとおりの方法でインド茜で染めたシルク布。1+2番液(左)と3+4番液
(右)、②好村あい乃さんが染めた毛糸。左から時計回りにトチの実、枇杷の葉、柿の葉、ススキ、セイ
タカアワダチソウ、③佐藤知美さんが染めた毛糸とコットンレース。毛糸左奥から時計回りに黒豆2番
液、黒豆1番液、枇杷の葉染めのモヘア、ススキの穂、ススキの葉と茎、セイタカアワダチソウ)

スウェーデンひつじの詩舎のホームページ

<http://www.s-hitsuji.co.jp/>

編集担当 佐藤治子

♥ スウェーデンひつじの詩舎 ♥

スペース ペレのあたらしいふく

〒244-0001 横浜市戸塚区鳥が丘 15-2

TEL&FAX 045-881-6900,6665

佐々木のアトリエ TEL&FAX 045-811-6708

相談窓口(金)担当: 寺田裕子 045-881-7035